



# LGBTQ+の 人々の ための 特別ミサ

## Special Mass for the LGBTQ+ Community

Statuetta del Buon Pastore  
(fine del III - inizi del IV secolo d.C.)  
nel Museo Pio Cristiano, Vaticano

2018年4月22日，復活節第4主日

司式：鈴木 伸国 神父様 SJ

## Regina caeli [天の後]

先唱：父と子と聖霊の御名によって

会衆：Amen.

(グレゴリオ聖歌の Regina Caeli を皆で歌います。別にお渡しする楽譜を御覧ください)

Regina Caeli, laetare, alleluia

[天の後よ、お喜びください、アレルヤ]

Quia quem meruisti portare, alleluia

[あなたがお宿しになった方は、アレルヤ]

Resurrexit, sicut dixit, alleluia

[おっしゃっていたとおりに復活なされたからです、アレルヤ]

Ora pro nobis Deum, alleluia

[わたしたちのために神にお祈りください、アレルヤ]

先唱：お喜びください、さらにお喜びください、おとめマリアよ、alleluia !

会衆：主はまことに復活なさいました、alleluia !

先唱：祈りましょう。神よ、あなたは、御子、わたしたちの主 Jesus Christ の復活によって、世に喜びを与えてくださいました。主をお生みになった乙女マリアによって、どうか、わたしたちが永遠の命の喜びを得ることができるようにしてください。わたしたちの主 Jesus Christ によって。

会衆：Amen.

先唱：栄光は、父と子と聖霊に。初めのように、今も、いつも、世々に。

会衆：Amen.



Il Guercino (1591-1666)  
*Apparizione di Cristo alla Madre* (1628-1630)  
復活したキリストが聖母に現れる  
Pinacoteca Civica, Cento

## 開祭

入祭の歌：典礼聖歌 172 (pp.204-205) 「わたしたちは神の民」

挨拶

司祭：父と子と聖霊の御名によって。

会衆：Amen.

司祭：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆：また司祭とともに。

回心

司祭：皆さん、神聖な祭りを祝う前に、わたしたちの犯した罪を認めましょう。

司祭：全能の神と、

会衆：兄弟の皆さんに告白します。わたしは、思い、言葉、行い、怠りによって、たびたび罪を犯しました。聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟の皆さん、罪深いわたしのために神に祈ってください。

司祭：全能の神がわたしたちを憐れみ、罪を赦し、永遠の命に導いてくださいますように。

会衆 Amen.

Kyrie：典礼聖歌 203 (p.246)

Gloria：典礼聖歌 204 (pp.248-250)

集会祈願

司祭：祈りましょう... (一同、沈黙のうちに、しばらく祈ります)

司祭：命の源である神よ、善い羊飼いであるイエスは、限り無い愛を以て、わたしたちのために命を投げ出してくださいました。主イエスのもとにひとつに集められたわたしたちが、主の愛に近づくことができますように。

聖霊の交わりのなかで、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

会衆：Amen.

# ことばの典礼

## 第一朗読

朗読者：(使徒言行録 4,8-12). 神の御ことば.

会衆：神に感謝.

答唱詩篇：典礼聖歌 87 (pp.110-111) 「今日こそ神が造られた日」 1, 2, 3 節

## 第二朗読

朗読者：(第一ヨハネ書簡 3,1-2). 神の御ことば.

会衆：神に感謝.

復活の続唱 (典礼聖歌 351, pp.402-405) [通例, 復活の主日と慈しみの主日に歌われますが, 今日今年の復活節中に行われる唯一の LGBT ミサですので, 皆で歌いましょう]

## Alleluia (聖書と典礼 pp.4-5)

## 福音朗読

司祭：主は皆さんとともに.

会衆：また司祭とともに.

司祭：ヨハネによる福音.

会衆：主に栄光 (親指で, 額, 口, 胸に, 十字架の徴をする)

司祭：(福音朗読：ヨハネ 10, 11-18). キリストに賛美.

会衆：キリストに賛美.

## 説教

**Credo** (使徒信条)：天地の創造主, 全能の父である神を信じます.

父のひとり子, わたしたちの主イエス・キリストを信じます.

主は, 聖霊によって宿り, おとめマリアから生まれ, ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け, 十字架につけられて, 死に, 葬られ, 冥府 (よみ) に下り, 三日目に死者のうちから復活し, 天に昇って, 全能の父である神の右の座に着き, 生者と死者を裁くために来られます.

聖霊を信じ, 聖なる普遍の教会, 聖徒の交わり, 罪の赦し, からだの復活, 永遠の命を信じます. Amen.

## 共同祈願

司祭：父である神にすべてをゆだねて祈りましょう。

祈願者：(わたしたちのミサにふさわしい祈りを御自由に言ってください)。

一同：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。



司祭：慈しみ深い神よ、御子キリストは、すべての人を心にかけて、導いておられます。わたしたちも主に従い、多くの人にあなたの愛を伝えることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：Amen.

## 感謝の典礼

奉納の歌：典礼聖歌 164 (p.198) 「喜びに心はずませ」

### 奉納行列

パンを供える祈り (省略されることがあります)

司祭：神よ、あなたは万物の造り主、ここに供えるパンはあなたからいただいたもの。大地の恵み、労働の実り、わたしたちの命の糧となるものです。

会衆：神よ、あなたは万物の造り主。

カリスを供える祈り (省略されることがあります)

司祭：神よ、あなたは万物の造り主、ここに供える葡萄酒はあなたからいただいたもの。大地の恵み、労働の実り、わたしたちの命の糧となるものです。

会衆：神よ、あなたは万物の造り主。

祈りへの招き (省略されることがあります)

司祭：皆さん、この献げ物を、全能の神である父が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆：神の栄光と賛美のため、また全教会とわたしたち自身のために、司祭の手をとおしてお献げするいけにえをお受けください。

### 奉納祈願

あわれみ深い神よ，キリストは，善い羊飼いとて，わたしたちを守り，憩いの水辺と青草の野原に導いてくださいます。主の食卓に招かれたわたしたちに，この恵みを深く味わわせてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：[Amen.](#)

### 叙唱前句

司祭：主は皆さんとともに。

会衆：[また司祭とともに。](#)

司祭：こころをこめて神を仰ぎ，

会衆：[賛美と感謝をささげましょう。](#)

### 叙唱

司祭：...

### Sanctus：典礼聖歌 205 (pp.255-257)

### 奉献文

司祭：...

### 記念唱

司祭：信仰の神秘。

会衆：[主の死を思い，復活をたたえよう，主が来られるまで。](#)

### 奉献文（続き）

司祭：...

### 栄唱

司祭：キリストによって キリストとともに キリストのうちに，聖霊の交わりの中で，全能の神，父であるあなたに，

一同：[すべての誉れと栄光は，世々に至るまで。 Amen.](#)

## Communio

司祭：...

会衆：（主の祈り）

天におられるわたしたちの父よ、

御名が聖とされますように、

御国が来ますように、

御ところが天に行われるとおりに地にも行われますように、

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください、

わたしたちの罪をお赦しください、

わたしたちも人を赦します、

わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください、

司祭：慈しみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与えください。あなたの憐れみに支えられ、罪から解放されて、すべての困難にうち勝つことができますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

会衆：国と力と栄光は、限りなくあなたのもの、

平和の徴

司祭：主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました：「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える」。わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を顧み、おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください、

会衆：Amen.

司祭：主の平和がいつも皆さんとともに、

会衆：また司祭とともに、

司祭：互いに平和の挨拶をかわしましょう、

会衆：主の平和、（より親しみを込めて、握手したり、ハグしても結構です、）

Agnus Dei：典礼聖歌 206 (p.258)



聖体拝領前の信仰告白

司祭：神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。

一同：主よ、あなたは神の子キリスト、永遠の命の糧、あなたをおいて誰のところに行きましょう。

聖体拝領（未受洗の方、および、プロテスタント教会のいずれかで洗礼を受けた後、カトリック教会への転会の手続をお取りなっていない方は、神父様から祝福をお受けください）

拝領の歌：典礼聖歌 123 (pp.148-149) 「主は我れらの牧者」

聖体拝領後の感謝（沈黙のうちに暫く祈ります）

拝領祈願

司祭：命の与え主である神よ、新しい一週間を始めるわたしたちを強めてください。わたしたちの日々の生活がキリストの呼びかけに応えるものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆：Amen.

閉祭

司祭：主は皆さんとともに。

会衆：また司祭とともに。

司祭：全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

会衆：Amen.

司祭：感謝の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

会衆：神に感謝。

閉祭の歌：典礼聖歌 410 (p.493) 「喜び歌えアレルヤ」

付録：

2016年6月26日、アルメニアからの帰途の機上記者会見における教皇 Francesco の言葉：

教会は同性愛者たちに赦しを請わねばなりません

同性愛者たちを差別してはなりません。彼らを敬意を以て教会に迎え入れ、司牧的に彼らに寄り添わねばなりません。

或る人が gay であり、その人が善意の人であり、かつ、神を探し求めているならば、その人を断罪するような我々は何者でしょうか？

我々はしっかり寄り添わねばなりません。

教会は、教会が傷つけてきた人々にお詫びしなければなりません。gay の人々にも、貧しい人々にも、女性にも、労働において搾取されている子どもたちにも、お詫びしなければなりません。

かくも多くの武器や兵器を祝福してきたことについてもお詫びしなければなりません。教会は、行動しないことが数多くあったことについてもお詫びしなければなりません。

わたしは「教会」と言いましたが、それは「キリスト教徒」のことです。教会は聖なるものであり、罪人であるのは我々 [キリスト教徒] です。

キリスト教徒は、かくも多くの選択に付き添わなかったこと、かくも多くの家族に寄り添わなかったことについて、お詫びしなければなりません。

わたしは、子ども時代の Buenos Aires の文化のことを憶えています。閉鎖的なカトリック文化。わたしの出自です。離婚家族の家を訪れてはならないとされていたのです！ほんの 80 年前のことです。文化は変わりました。神に感謝！

キリスト教徒がお詫びしなければならないことは、ほかにもたくさんあります。

赦しを請うのです。お詫びするだけではありません。主よ、お赦してください！ そう言うのを、我々は忘れていきます。

慈しみ深い父ではなく、厳しい主人であるような司祭、抱擁し、赦し、慰める司祭ではなく、鞭打つ司祭、そのような司祭がたくさんいます。

しかし、病人や受刑者に寄り添う司祭もたくさんいます。多くの聖人もいます。

だが、彼らは目に見えません。なぜなら、聖性は慎み深いのです。聖性は隠れています。逆に、厚かましきは目立ちます。目立つし、見せびらかします。

多くの組織 – そこには善人もいるし、あまり善人でない人々もいます。あるいは、ちょっと大きめの財布を渡してあげたい人々もいれば、他方で、あの 20 世紀の三大虐殺 [トルコによるアルメニア人虐殺, Nazi によるユダヤ人虐殺, Stalin による虐殺] を起こした国際的な大国のようなものもあります。

我々キリスト教徒 – 司祭、司教 – も、そのようなことをしたのです。

しかし、我々キリスト教徒は、カルカッタのテレサのような人をも持っています。カルカッタのテレサのような人々を、たくさん。アフリカの多くのシスターたち、多くの一般信徒、多くの聖なる夫婦。

良い麦と毒麦です。神の御国はそのようだ、とイエスが言うように。

そのようであることに躓いてはなりません。我々は祈らねばなりません。毒麦は終わり、良い麦がより多くあるようにしてくださるよう、主に祈らねばなりません。

教会の生は、そのようなものです。境界線を引けるわけではありません。

我々は皆、聖なる者です。なぜなら、我々は皆、聖霊を内にいただいているからです。しかし、我々は皆、罪人です。わたしを始めとして。

ですから、お詫びするだけでなく、赦しを請いましょう。



**Resurrexit sicut dixit, alleluia !**

Charles Le Brun (1619-1690)  
*La Résurrection du Christ*  
Musée des beaux-arts de Lyon